



【第293号 紙面案内】

第2～3面…第71回大会プログラム 第4～7面…学会・部会からの連絡など

バルーン型組織への誘い —イノベーションを推進するベンチャースピリット—

日本マネジメント学会会長 加藤 茂夫 (専修大学)

第71回全国研究大会 (2015年6月専修大学開催) のテーマは「イノベーション・マネジメントとベンチャースピリット」です。このテーマは現代における日本の企業の抱える課題を端的に表しています。それは、イノベーションを推進できない組織の官僚化です。そしてその官僚化の弊害を打破し、新たな世界に船出しようとするトップ・マネジメントの戦略の欠如と能力の問題です。米国の調査によると日本人の潜在能力は抜群であるがその後のキャリア形成が不十分なためリーダーの輩出ができない状況にあるとの指摘があります。残念なことです。

さて、それらの課題を打開する解決策は存在するのか？ 一つには学校教育や組織の在り方にも関わってくるのですが「自律」「自己責任」「利他心」「多様性」の涵養でしょう。そのためにはカオスの縁での体験を積み重ねたり、また、キャリアプラトー現象をなくするための組織的工夫が必要となります。その目指すべき精神は「創造的で進取な心を持ち、リスクに果敢に挑戦する意欲と夢・責任感・倫理観を持つ心の様相—ベンチャースピリット」です。

そのベンチャースピリットを活かす組織の形・イメージがピラミッド型組織ではなくバルーン型組織と考えています。経営者や組織のリーダーがバルーン (風船) を束ねており、風船が自由に活動できる体制になっているというものです。糸を通じてビジョン、哲学、使命が伝えられます。21世紀に存続・成長する企業の条件は、大企業も中小企業もベンチャースピリットを組織や個人に浸透させることです。それには、企業を「小さな組織やチーム」に分割し、自律的に動ける組織の連合体にすることが不可欠であり、経営者やリーダーはこのことをしっかりと認識するべきです。

バルーン型組織とは「組織の規模や組織の種類に関係なく、経営者やリーダーがベンチャースピリットを常に持ち続け、そのビジョン・使命、思想や考え方が組織メンバーに浸透しているということ。そして業界や社会の多面的な課題に貢献していることが広く認知され、常に高い目標や使命に向かって業務遂行をしているシステム」です。企業組織の典型的スタイルとしてのピラミッド型構造からバルーン型構造への転換です。

日本企業の抱える多面的な課題解決が会員のアイデアと実践力で成就されんことを期待すると同時に全国研究大会で刺激的で活発な意見交換が行われることを念願する次第です。

日本マネジメント学会第71回全国研究大会プログラム

統一論題 「イノベーション・マネジメントとベンチャー・スピリット」

会場：専修大学生田キャンパス

第1日 2015年6月12日(金)

14:00～17:00 企業見学 かわさき新産業創造センター

17:30～ 理事会 かわさき新産業創造センター会議室

第2日 6月13日(土)

9:00～ 受付 10号館2階

9:30 会長挨拶 日本マネジメント学会会長 加藤 茂夫

開会挨拶 第71回全国研究大会実行委員会委員長 小沢 一郎

9:40～15:30 統一論題セッション (報告：各40分 討論70分 計150分) 10202教室

9:40～12:10	統一論題セッション1
報告者(1)	恩田英久氏(株式会社ウエストエネルギーソリューション代表取締役社長)
報告テーマ(1)	日本流ダイバーシティマネジメントの実践—高齢者活用と女性登用による企業成長事例—
報告者(2)	小蔦正稔氏(東洋大学)
報告テーマ(2)	イノベーション・マネジメントとベンチャー・スピリット—生活レンタカーのビジネスモデルとコブランディング—
コメンテーター	松本芳男氏(日本大学)
司会者	柿崎洋一氏(東洋大学)

12:10～13:00 休憩 10203教室

13:00～15:30	統一論題セッション2
報告者(1)	深江秀和氏(PUX株式会社代表取締役社長)
報告テーマ(1)	大企業におけるイノベーションとベンチャー活用
報告者(2)	三宅秀道氏(専修大学)
報告テーマ(2)	小規模家族企業の経営革新—生活雑貨産業の諸事例から—
コメンテーター	奥山雅之氏(多摩大学)
司会者	亀川雅人氏(立教大学)

15:40～16:50 会員総会 10202教室

17:00～18:10	特別講演 10202教室
講演者	魚谷雅彦氏(株式会社資生堂執行役員社長)
報告テーマ	MARKETING AND INNOVATION (仮題)
司会者	小沢一郎氏(専修大学)

18:30～ 懇親会 10号館4階 シダックス

第3日 6月14日(日)

9:00 受付 10号館2階

9:30～12:00 統一論題セッション(報告:各40分 討論70分 計150分) 10202教室

9:30～12:00	統一論題セッション3
報告者(1)	櫻井 亨氏 (公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター管理部長 兼 産業支援部新産業振興課長事務取扱)
報告テーマ(1)	川崎における中小企業支援の取組
報告者(2)	高橋淑郎氏 (日本大学)
報告テーマ(2)	Innovating Healthcare Management - Build Innovation into Your Strategy
コメンテーター	海老澤栄一氏 (元神奈川大学)
司会者	小椋康宏氏 (東洋大学)

12:00～13:00 休憩 10203教室

12:00～13:00 新理事会 10206教室

13:00～15:10 自由論題報告・国際セッション(各報告 報告:25分 コメントおよび質疑:15分 計40分)

13:00～13:40	A会場 10205教室 (自由論題)	B会場 10213教室 (自由論題)	C会場 10214教室 (自由論題)	D会場 10215教室 (国際セッション)
報告者	日山敦生氏 (緑ビジネスコーチ研究所)	堀野巨求氏 (京都産業大学大学院)	澤井一孝氏 (専修大学大学院)	1. Effects of job satisfaction on organizational trust, organizational commitment, and union commitment Baek, You Sung (Dong Yang University), An, Seung Cheol (Yeungnam University), Kim, Gu Tag (MBA (Dong Yang University))
報告テーマ	原因を後から考える人や組織の問題解決法—解決志向アプローチ—	中間支援組織における他組織との協働関係性の機能構築について—ネットワークングの理論による新たな視座—	農業におけるプロセス・イノベーション—栽培技術の観点から—	2. Influence of Korean Entrepreneurs' Networking on Entrepreneurial Performance. Chung, Dae Yong (Soongsil University). 司会:文載皓(富士常葉大学)
コメンテーター	中村公一氏 (駒澤大学)	東 俊之氏 (金沢工業大学)	當間政義氏 (和光大学)	
司会者	宮島 裕氏 (共栄大学)	大杉奉代氏 (香川大学)	池田玲子氏 (羽衣国際大学)	
13:45～14:25	(自由論題)	(自由論題)	(自由論題)	(特別セッション)
報告者	小森谷浩志氏 (神奈川大学)	積田淳史氏(武蔵野大学) 久保田達也氏(成城大学)	渡邊昭王氏 (YOU-MORE 経営)	経営現場から経営学に求める実践的課題とは
報告テーマ	内省を中核とした組織開発の可能性—「リフレクション・ラウンドテーブル」の実践を通じて—	研究者のモチベーション:基礎研究所を対象とした定量分析	シリアス製品に対するユーモア表現の受容性について	司会/コメント 辻村宏和氏(中部大学) 報告者 村井淳氏(東京急行電鉄) 立花敏男氏 (キヤノン USA 前副社長)
コメンテーター	坪井順一氏 (文教大学)	山口裕之氏 (東洋大学)	瀬戸正則氏 (広島経済大学)	
司会者	大平義隆氏 (北海学園大学)	篠原 淳氏 (熊本学園大学)	石井泰幸氏 (千葉商科大学)	
14:30～15:10	(自由論題)	(自由論題)	(自由論題)	※発表20分 コメント10分 質疑/討論:35分
報告者	藤木善夫氏 (東海学園大学)	後藤浩士氏 (福岡大学大学院)		
報告テーマ	バリュー・イノベーション考—俺の株式会社における既存市場再定義化による価値創造過程に注目して—	会社法から見た環境経営におけるコーポレートガバナンス		
コメンテーター	藤井辰朗氏 (中部大学)	梅田勝利氏 (九州共立大学)		
司会者	杉山三七男氏 (静岡産業大学)	手塚公登氏 (成城大学)		

15:10 閉会挨拶 日本マネジメント学会組織委員会委員長 辻村 宏和

15:10 第72回全国研究発表大会 大会実行委員会 (10206教室)

学会ロゴマークについて

日本マネジメント学会会長 加藤 茂夫（専修大学）

ロゴマークは表紙会報の左側にあります。ロゴはカラーとモノクロを用意しています。カラーの場合、下のMはブルーでマネジメント、静的エネルギーの源流である海原のイメージ。万物の生命の根源。上のAはアカデミー、色はグリーンで日本の山をイメージさせる爽やかな開放感や日本が世界に貢献する交流のための山河、国土を連想させるようにしています。是非使用していただきたいと存じます。ロゴマークは学会事務局にあります。制作は（株）エアールの菊池美範、湯浅レイ子の各氏のご厚意によって完成しました。

常任理事会報告

日 時 平成27年 3 月 7 日(土)

場 所 立教大学 池袋キャンパス 11号館 3 階 A303教室

議 題

(1) 全国研究大会の開催について

第71回は専修大学・生田キャンパスで開催される（平成27年 6 月12日～14日）。準備状況などについて報告された。特別セッションとして、「経営現場から経営学に求める実践的課題とは」をテーマに、パネル・ディスカッション形式で実施することが報告された。

(2) 平成26年度の活動経過報告及び平成27年度の活動計画概要について

各委員会、各研究部会の活動報告がされた。

(3) 会員の入退会について

入会（個人 5 名）、退会（個人12名）が承認され、合計（個人679名、法人 5 社）となったことが報告された（平成27年 3 月 7 日現在）。

(4) 新規会員の勧誘策について

学会員数の低下傾向がみられるために、新入会員の獲得に力を入れていくことが検討された。

(5) 会費未納者のフォローについて

会費未納者について、可能な限り、理事などを通じて、個別に連絡することとなった。

◇◇関東部会開催のご案内◇◇

開催校担当教員 山中 伸彦 (立教大学)

- 日 時：2015年7月18日(土) 14時～17時
- 場 所：立教大学 A303教室
- 報告プログラム ※報告：40分、コメント・質疑 20分

第1報告：14:00～15:00

報告者：今野 秀彰 (ノキアソリューションズ&ネットワークス株式会社)
テーマ：「通信キャリアに求められるサービスモデルの展開」
コメンテーター：相原 章 (成城大学)
司 会：文 載皓 (常葉大学)

(10分休憩)

第2報告：15:10～16:10

報告者：谷川 寿郎 (立教大学大学院)
テーマ：「日本のトップマネジメントの現状—内部昇進制を中心とした—考察—」
コメンテーター：田中 信弘 (杏林大学)
司 会：樋口 弘夫 (和光大学)

(20分休憩：コーヒーブレイク)

第3報告：16:30～17:30

報告者：下境 芳典 (東洋大学)
テーマ：「ベンチャー企業の成長理論に関する—考察—」
コメンテーター：小野瀬 拓 (駒澤大学)
司 会：石毛 昭範 (拓殖大学)

- 参加費等：参加費 1,000円、懇親会費 3,000円
- お問い合わせ：関東部会長・手塚 公登 (045-962-6181 tezuka@seiyo.ac.jp)

◇◇中部部会からのお知らせ (開催報告/報告者の募集) ◇◇

藤木 善夫 (東海学園大学)

平成27年3月14日(土)14時より、第50回中部部会が中京大学名古屋キャンパスにおいて経営哲学学会、経営行動研究学会との3学会合同で32名の参加者を得て開催された。第1報告は、小野琢氏 (愛知産業大学) による「日本のCSR～その源流から経営自主体論へ(序論)～」、司会・コメンテーターは堀田友三郎氏 (東海学園大学) であった。小野氏は、

近年の日本の CSR を考える際にその源流に立ち返る必要があるとの問題意識から、石田梅岩の「石門心学」、近江商人「三方よし」、に触れ日本の CSR の源流から経営自主体論について論じられた。

第2報告は、渡辺昭王氏（YOU-MORE 経営）による「シリアス製品に対するユーモア表現の受容性について—ビジネス広告分野における実証研究から—」、司会・コメンテーターは辻村宏和氏（中部大学）であった。渡辺氏は、ユーモア広告の効果について李津娥（2001）をモチーフに経営者向けの有料セミナー（B to B）の効果について統計処理による比較分析を行い、李とは異なる結果を得たことを報告された。

第3報告は、櫻井克彦氏（東海学園大学）による「現代の経営政策とステークホルダー・アプローチ」、司会・コメンテーターは中條秀治氏（中京大学）であった。櫻井氏は、CSR 経営の意義として、現代の企業の現状、CSR の抽象的意義・今日の特色等に触れられ、CSR 経営におけるステークホルダー・アプローチ、更には CSR 経営における留意事項は何かについて言及された。

それぞれの報告終了後には活発な質疑応答がなされ、引き続き、堀田部会長を議長として次回開催校等に関する議事が審議された。

報告会終了後、懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中会員間の交流が深められた。

* * *

第51回中部部会は平成27年6月27日に東海学園大学栄サテライトで実施予定です。詳細は決まり次第連絡いたします。奮ってご参加ください。

なお中部部会事務局では、随時報告募集を行っております。報告を希望される方は藤木善夫（東海学園大学 〒470-0207 みよし市福谷町西ノ洞 21-233

TEL;0561-36-5555, fujiki@tokaigakuen-u.ac.jp) までお知らせください。

◇◇関西部会からのお知らせ（報告者の募集）◇◇

関西部会長 佐々木 利廣（京都産業大学）

平成27年度第1回関西部会を以下の日程で開催予定です。現在報告者を募集しております。報告を希望される方は、報告タイトル等（仮題でも結構です）を5月末までに下記の幹事あるいは佐々木まで御連絡くださいますようお願い申し上げます。

なお関西部会では随時報告者を募集しております。

1. 日時：平成27年6月27日（土）13時30分～
2. 場所：認定特定非営利活動法人 大阪NPOセンター
〒541-0046 大阪市中央区平野町1-7-1 堺筋高橋ビル5F
3. その他（報告の応募先）

部会会長 佐々木利廣（京都産業大学）E-mail：sasaki@cc.kyoto-su.ac.jp

部会幹事 堀野亘求（大阪NPOセンター）E-mail：i1351029@cc.kyoto-su.ac.jp

◇◇中国・九州部会の開催報告◇◇

井手 圭輔（経営コンサルタント）

平成27年2月28日(土)の13時から、九州産業大学(1号館2階S205教室)にて中国・九州部会が開催された。

まず、熊本学園大学の篠原淳部会長の開会挨拶に続き、第一部では3つのテーマについて報告がおこなわれた。

第一報告は九州大学の西釜義勝氏の「コア技術の計画的形成プロセスに関する試論的考察—中小企



写真左：たいら 由以子 理事長 写真右：間間 理 教授

業の事例より—」であり、ジェイアンドスミス株式会社を事例とした報告であった。第二報告は福岡大学の後藤浩士氏の「会社法から見た環境経営とコーポレートガバナンス」であり、マネジメント分野としては「経営倫理」の範疇であった。第三報告の九州共立大学の梅田勝利氏の「社会福祉施設の経営に関する提案」では、施設運営スタッフに対する会計教育の必要性和、社会福祉法人会計の効果的な利用についての提案がなされた。いずれの報告もフロアからの質問が相次ぎ、充実したものであった。

休憩をはさみ、第二部として「事業開発コース farm 3.0 の取り組み」と題したシンポジウムが開催された。これは、九州産業大学経営学部に開設されているアクティブラーニングとしての「事業開発コース」の事例である。九州産業大学の小野瀬拓氏をコーディネーターとして、初めに九州産業大学の間間 理氏より同学における「事業開発コース」の取り組みについて、概要説明がおこなわれた。続いて、「farm 3.0」プロジェクトに協力・参画しているNPO 法人循環生活研究所のたいら 由以子理事長より、同研究所の活動事業の概要、ならびに「farm.3.0」プロジェクトの推進状況が説明された。その後の質疑では、本プロジェクトの経営学実践への影響、プロジェクトを指導した経験から学術研究や大学へ要望することは何かなどの質問があり、併せて意見の交換がなされた。

部会は、17時30分をもって閉会した。その後、良之助本店に場所を移し懇親会が催され、参加者による部会以上の白熱した議論が重ねられた。

メールマガジンは届いていますか？

総務委員会ではメールマガジンを随時(通常月1回以上)お送りしています。メールマガジンでは全国大会や部会の開催案内、その他の情報を提供しています。メールマガジンは届いていませんか? もし届いていなければ、メールアドレスの再登録をお願いします。アドレス登録は学会事務局までメールにてお寄せください。

平成27年度会費の請求のお願いについて

当学会は、会員の皆様方の会費によって運営されております。今年も、新年度のスタートに伴って、平成27年度会費をご請求致しますので、よろしくお申し上げます。

会費のご請求に当っては、請求書をご送付しますので、学会会則に明記されている支払期限（6月30日）までに下記の方法（①又は②のいずれか）にてご送金下さい。

平成26年度以前の過年度会費を未払いの方については、当該未払会費を合わせてご請求致しますので、お支払いのご協力を切にお願い申し上げます。なお、4月の会費自動引落しの対象者で既に引落しがされた方及び平成27年度会費を既に前払いされた方等はご請求から除いておりますのでご留意下さい。

①郵便振込の場合（請求書に同封の払込取扱票を利用すれば、振込手数料は学会負担となります。）

口座番号：00150-7-535064

②銀行振込の場合

みずほ銀行 飯田橋支店 普通預金口座 1388418

第72回全国研究大会自由論題報告募集

平成27年10月23日（金）～25日（日）に香川大学において開催される第72回全国研究大会自由論題報告を募集しております。応募の詳細につきましては会報第292号をご覧ください。なお、締切は、6月30日（火）必着になっております。

会員の最新刊著書を紹介します

須田敏子（編著）『日本型戦略の変化：経営戦略と人事戦略の補完性から探る』

東洋経済新報社刊 4,000円＋税

※会員の皆様の最新刊著書を紹介いたしますので、事務局へ献本（1冊）をお願い致します。

訂正

前号（第292号）の会報で、関東部会の第1回プログラムの氏名に誤りがありました。ここにお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

第2報告の司会

（誤）小森谷 裕志 氏

（正）小森谷 浩志 氏

編集後記

現体制での会報発行の担当も今号が最後となりました。期日通りに発行できたのも原稿執筆をお願い致しました関係各位のご協力のおかげです。いろいろとご支援いただき、誠に有難うございました。

中村公一（会報委員会委員長）、細萱伸子（副委員長）

発行 **日本マネジメント学会**
(旧称：日本経営教育学会)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36
S&Sビルディング3F
株式会社山城経営研究所内（担当：武市）
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: <http://www.nippon-management.jp/>
印刷 株式会社ドットケイズ TEL 03-5206-1626
E-mail: win@good-ks.co.jp